



闘いの歴史

1996年初当選から

27年

MIKIO



三
キ
オ
の
実
績
15

①新崎進悟さんの心臓移植に協力

外務省・厚労省・航空自衛隊那覇基地・日本航空・在沖海兵隊など、多くの協力を得て、平成13年10月12日、新崎進悟さんの米国での心臓移植手術に成功しました。



②県立南部医療センター・こども医療センターの建設

沖縄県が赤字を理由に改修しなかった県立那覇病院を、当時の院長の要請を受け、関係各所と幾度にもわたり協議を行い、予算化を実現。ODA予算導入のために海外研修生の受入制度をつくったことが特徴です。



③ハンセン病社会復帰支援事業および退所者給付金制度の設立

ハンセン病療養所を退所し、生活基盤の確立および自立促進を目的として、地域社会内に生活基盤を確立することを希望する方に対し、社会復帰に必要な費用総額250万円を上限として給付する支援制度を設立しました。



④沖縄の高校生の米国留学制度設立

沖縄の自立に一番必要なのが人材育成です。特に、日本や沖縄を外から客観的に見て、国際感覚を持って仕事のできる人材を育てることが重要です。その取組みの一環として、平成9年4月から10年間、年間40人の高校生を米国へ留学させるプログラムの実現に取り組み、彼らはさまざまな分野で活躍しています。



⑤「日系4世まで日本人」 日系社会との連携

日本人と同等に日本国内で就労できるのは日系3世まででしたが、ミキオは、4世まで日本国内で就労できるよう法改正を実現しました。



⑥「琉球大学医学部・病院」移転

琉球大学医学部・病院が西普天間地区に移転されます。この移転費用の8割に、沖縄振興予算が充てられます。琉大の移転に沖縄振興予算を使うことが可能になったのは、平成24年の沖縄振興特別措置法改正時に、「琉球大学」を条文に書き加えたからです。これを根拠に、琉球大学に対し、沖縄振興予算が拠出できるようになりました。



⑦フィリピンからの 介護福祉士養成沖縄モデル

沖縄で日本語と介護の勉強をして、沖縄で介護福祉士として活躍してもらおうという制度を最大限活用。沖縄との架橋となる人材育成は、沖縄の未来を豊かにします。



⑧対馬丸の発見・記念館建設

国会議員になって初めて受けた陳情が、対馬丸問題。戦争の悲惨さ、命の尊さを学び、次の世代へと継承して、恒久平和に取り組む。戦後の沖縄の原点が、ここにあります。



⑨不発弾対策経費の増額

不発弾は戦後処理問題です。被害者救済および現場での不発弾磁気探査は、100%国の責任で行われるべきです。「国が責任を持って解決する」との麻生総理の答弁を予算委でひきだし、事業として今も継続しています。



⑩久米島高速船 「2024年4月就航」



人口減少に悩む久米島にとって、「流動人口を増やすこと」は喫緊の課題です。フェリーで3時間半かかっていたのが、わずか60分で行き来できることになれば、久米島町にとっても、観光客にとっても、修学旅行生にとっても、メリットが大きいです。久米島の元気は、沖縄を元気にします。

⑪「北部テーマパーク」開業予定

北部振興の大きな起爆剤となるテーマパーク。2011年からUSJのV字回復の立役者である森岡毅氏と進めてきました。北部の新たな雇用が生まれ、経済が活性化します。



下地ミキオ後援会向けに講演する森岡氏
(2015年9月15日 USJ内)

⑫空車タクシーの バスレーン通行を実現

かつて、空車タクシーはバスレーンを通行できませんでした。公共交通としての役割を鑑み、お客さんの利便性と安全を高めるために、空車時のバスレーン通行を実現しました。



⑬長年の夢実現「伊良部大橋」

宮古島市民の長年の悲願であった伊良部大橋構想。宮古島出身のミキオも、関係者の皆様と共に政府に早期実現を働きかけ、2015年1月31日に供用開始となりました。



⑭「馬毛島」活用で 沖縄の基地負担軽減

6年がかりで地主と国と防衛省と何度も交渉を重ね、2019年に160億円で国が馬毛島を購入することを合意し、沖縄の基地負担軽減の実現へ大きな一歩が刻まれました。



馬毛島

⑮「那覇空港第二滑走路」の建設

平成25年度の概算要求で新規事業として要求。県民の長年の夢であった第2滑走路は、2020年3月16日に供用開始。沖縄観光の玄関口として、大きな役割を果たしていきます。



ミキオの 実現力

観光・地域振興

- ① 関係各省によるオニヒトデ駆除対策
- ② 渡嘉敷村沖縄青年の家に野球場を建設
- ③ 与那国島における浮き島魚礁対策
- ④ 国際通りの大幅改修(電柱埋設・歩道拡張)
- ⑤ 国道58号線の改修と天久新都心・中環状線道路改修
- ⑥ 国際通りの日よけの設置
- ⑦ 沖縄にてビジネスアイデアコンテスト開催
- ⑧ 渡嘉敷村の災害復旧事業
- ⑨ 沖縄高速道路高架橋下を南風原町が公園として活用
- ⑩ 久米島町儀間ダムの予算確保
- ⑪ 西原町小波津川の河川改修
- ⑫ 西原町国道329号小那覇交差点の改良
- ⑬ 西原町小那覇工業団地内道路拡張
- ⑭ 国道329号 与那原バイパス延長
- ⑮ 旧具志川市の最終処分場の建設
- ⑯ 伊是名村仲田港の改修
- ⑰ 本部港のターミナル改修
- ⑱ 豊見城市与根公民館建設の予算確保
- ⑲ 八重岳の道路改修予算の確保
- ⑳ 「沖縄こどもの国」周辺柵整備を実施
- ㉑ 那覇市泊漁港活性化事業「いゆまち」の建設
- ㉒ 首里・当蔵大通り(県道)の改修事業
- ㉓ 首里の石嶺・福祉センター線の改修事業



- ②4西原町工業団地進入路の道路改修
- ②5旧与那城町、海中道路の海の駅「あやはし館」建設
- ②6北谷町の排水溝の改修
- ②7宜野湾市のパイプライン道路改修事業
- ②8北大東村の研修センター建設予算確保
- ②9宜野座村のタラソ施設建設予算確保
- ③0栗国・久米島にパークゴルフ場
- ③1若狭の大型客船用船着き場
- ③2那覇空港国際線の夜間チャーター便受け入れ
- ③3高速料金の値下げ
- ③4沖縄県卸商業団地の渋滞緩和
- ③5栗国村 航空路線の確保
- ③6久米島海洋深層水を利用した温度差発電
- ③7北大東・南大東のテレビ地上デジタル化
- ③8久米島・兼城港(花咲地区)の整備

医療・福祉

- ①那覇市医師会会館の建設予算確保
- ②小児発達センターの予算確保
- ③沖縄整枝療護園の増改築
- ④県立八重山病院に「救急救命センター」を増築
- ⑤安心の地域医療を確保
- ⑥安心こども基金の継続
- ⑦児童養護施設美さと児童園の改修

制度

- ①イラク戦争およびSARS感染に関する旅行業者等
中小企業対策を策定
- ②米国同時多発テロに伴う沖縄観光振興緊急対策
の実施
- ③沖縄離島3路線(羽田・宮古・石垣・久米島路線)に
係る航空燃料税の軽減措置の延長
- ④NHK天気予報に沖縄(宮古・八重山地区)を表示
- ⑤沖縄産農産物の戦略的県外輸送システム確立事業
- ⑥タクシー緊急指定地域制度の導入
- ⑦伊良部町における葉タバコ生産地の拡大
- ⑧特別自由貿易地域の設置
- ⑨卸売商業団地組合の制度資金の借り換え
- ⑩出店業の衛生許可取得期間の大幅延長
- ⑪タクシー改革法案が成立
- ⑫原油価格の高騰に伴う緊急経済対策を提案
- ⑬改正建築法への対策にミキオ案
- ⑭中国からの数次ビザ制度
- ⑮低所得者向けの持ち家取得制度
- ⑯さとうきび対策
- ⑰「黒糖」のブランド化
- ⑱軍用地料単価の引き上げ

教育

- ①30人学級の導入
- ②西原町の図書館建設
- ③中城村の歴史道路整備事業
- ④離島からの学生寄宿舍の建設
- ⑤奨学金制度の拡充

ミキオの **実現力**

平和・外交

- ①那覇軍港米軍用地(2.1ヘクタール)の一部返還
- ②嘉手納基地におけるPCB汚染調査
- ③在沖海兵隊のグアム移転
- ④沖縄-マニラ(フィリピン)航空路開設
- ⑤新日米地位協定案を取りまとめる
- ⑥2000年沖縄サミットにおいて首里城での歓迎夕食会を実現
- ⑦フィリピン残留日本人問題を受けて名簿作成
- ⑧比・アロヨ大統領に在沖米軍のフィリピンへの訓練移転受け入れを再確認

沖縄振興法

- ①一括交付金の創設
- ②一括交付金の町村自己負担ゼロ
- ③輸送費補助 27億円
- ④沖縄振興開発金融公庫の統合期限の延長



日々の話題・ミキオの“LOVE沖縄”を絶賛配信中！

下地ミキオの「ミキオポストonラジオ」

毎週木曜日

午後8～9時

- FMもとぶ(79.2MHz)
- FM21(76.8MHz)
- FMLレキオ(80.6MHz)

毎週土曜日

午後7～8時

- FMみやこ(76.5MHz)

毎週日曜日

午前10～11時

- FMくめじま(89.7MHz)

午後4～5時

- FMLレキオ(80.6MHz)
- オキラジ(85.4MHz)

午後6～7時

- FMなは(78.0MHz)



下地ミキオ後援会

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3丁目5番3号
TEL.098-866-7603 FAX.098-866-7602
(内部資料)

photo by @makinophoto_1109

